

介護施設の防犯・監視カメラ設置のコツ

プライバシー配慮など設置時に検討すべき項目と介護士の業務効率化を支援するカメラ活用方法

この資料では、介護施設に防犯・監視カメラを設置する時に検討すべき項目とカメラ画像の活用方法についてご紹介しています。これから導入される際の参考資料としてご活用ください。

主な目次

1. プライバシー配慮など設置時に検討すべき項目
 - (ア) プライバシーの配慮
 - ① 入居者様を見守りつつ、入居者のプライバシーにも配慮したい
 - ② スタッフが各居室の状況を見守るうえで、プライバシーの配慮が必要となっている
 - (イ) 夜間のセキュリティ強化
 - ① 夜間のエントランスホールや階段などで発生する事故を減らしたい
 - ② 施設外周を監視し、不審者による侵入を防ぎたい
2. 介護士の業務効率化を支援するカメラ活用方法
 - (ア) 見守り業務の支援
 - ① 介護スタッフが居室や共有スペースの状況を集中管理し、見守業務を削減したい
 - (イ) 証拠映像の検索
 - ① 共有エリアでの入居者間のトラブル時に、トラブル時の状況を確認したい
 - ② トラブル時には入居者・介護職員により証言が異なり、職員のモチベーションに影響してしまう
 - (ウ) 無断外出の抑止
 - ① 入居者が無断で外出することが年に数回発生する
 - ② 施設の自由度を確保するため、扉を常時施錠することはできない
 - ③ 無断外出者がでると、職員数名が数時間かけて周囲を捜索している
 - (エ) 夜間巡回の負荷軽減
 - ① 人手不足から夜勤者の確保が厳しく、少人数に行ってる。夜勤勤務者の負荷を軽減させたい。
 - ② 職員が夜間帯に複数フロア（複数ユニット）を掛け持ちでみている。

[申し込みする>>](#)